



校訓 『積小為大』

学校教育目標

夢・希望に輝く子の育成

目指す
幼児児童
生徒像

- (幼児児童)
 - 明るく思いやりがあり助け合う子 (思いやりがある子・徳)
 - よく考え進んで学習する子 (かしこい子・知)
 - 心身をきたえ最後までやりぬく子 (ねばり強い子・体)
- (生徒)
 - 思いやりがあり、他者を尊い者として重んずる生徒 (尊重・徳)
 - 自ら考え、自ら行動するかしこい生徒 (自立・知)
 - 未来に向かい、大きく成長する粘り強い生徒 (飛躍・体)

自立した学習者の育成

学校重点目標

- 自分で考え、計画して行動できる子
- 目的意識を持ち、目標を達成するために継続して努力する子
- きまりの意義や価値を実感できる子

豊かな心の育成

確かな学力の育成

健やかな体の育成

【キャリア教育の充実】

○教育活動全体を通じたキャリア教育の取組の充実

【道徳教育・人権教育の充実】

- 自他の生命を尊重する心の育成
- 豊かな情操、善悪の判断などの規範意識の育成

【生徒指導の充実】

- 自らの行動を決断し、実行する力、自己指導能力の育成
- 安心・安全な魅力ある学校・学級づくり

心のみがく月間 (年2回)

【教育課程の効果的な推進】

- 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得
- 思考力、判断力、表現力等が育まれる教育の充実

【学習指導の工夫・改善・充実】

- 「問い」が生まれる授業サポートガイド等を活用した「主体的・対話的で深い学び」の視点で実践する授業改善
- 指導と評価の一体化

○頭をきたえる月間 (年3回)

【健やかな心と体を育む教育の充実】

- 生涯を通じて自らの健康を保持増進していく資質・能力の育成
- 心と体を一体として捉えた学習指導の工夫・改善

【食育の推進、学校安全・防災教育の推進】

- 食育推進体制の確立及び充実
- 適切な安全管理と安全教育の充実

○体をきたえる月間 (11~12月)

一生懸命がかっこいい!

【家庭・地域との連携】

- 基本的生活習慣の確立 (早寝・早起き・朝ご飯) ○家庭の日・ファミリー読書の奨励 ○朝起き会への協力
- 水泳指導 ○地域の教育資源の活用 (人材等) ○学校評議員による提言 ○学校評価の公表
- 学校・警察連絡会 ○学校・村教育委員会定例連絡会 ○村学推及び社会教育委員との連携など

はじめに

将来の変化を予測することが困難な時代を向かえる島の子ども達。2030年、日本は少子高齢化がさらに進行し、65歳以上の割合は総人口の3割に達する一方、生産年齢人口は総人口の約58%にまで減少すると見込まれている。そのような世界で生きていく子ども達に学校では子ども達一人一人の可能性を伸ばし、新しい時代に求められる資質・能力を確実に育成していくことやそのために求められる学校のあり方を不断に探求する文化を形成していくことがより一層重要になる。 中教審教育課程企画特別部会 論点整理より引用

学校は、今を生きる子ども達にとって、現実の社会との関わりの中で、毎日の生活を築き上げて行く場であるとともに、未来の社会に向けた準備段階としての場でもあることから日々の豊かな生活を通して、未来の創造を目指す。

今後、島においても急速に迫られる児童生徒数の減少も顕著に見られる昨今だからこそ、一人一人の健やかな成長とともに幼稚園、小学校、中学校が今後も益々の発展を成し遂げていくことを願い、これまでのグランドデザインを刷新し、持続可能で発達段階に相応しい表記を意識して作成した。基本的には、教育振興基本計画（文部科学省）、学校教育における指導の努力点（沖縄県）、渡名喜村教育総合計画などが示す指針及び方向性を参考にしている。

持続可能な社会の創 り手の育成

- ・将来の予測が困難な時代に未来に向けて自らが社会の創り手となり、持続可能な社会を維持・発展させていく人材を育てる。
- ・主体性、リーダーシップ、創造力、課題設定・解決能力、論理的思考力、表現力、チームワークなどを備えた人材の育成。

日本社会に根ざしたウェ ルビーイングの向上

- ・多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなるよう、教育を通じてウェルビーイングを向上。
- ・幸福感、学校や地域でのつながり、共同性、利他性、多様性への理解、社会貢献意識、自己肯定感、自己実現等を調和的・一体的に育む。

教育振興基本計画で示された2つのコンセプト

※ウェルビーイングとは・・身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念のこと。

また、多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念。

第4期 教育振興計画（R5～R9）より引用

これまでの学校教育目標

- 明るく思いやりがあり助け合う子（徳）
- よく考え進んで学習する子（知）
- 心身をきたえ最後までやりぬく子（体） この位置づけを改め、R6年度からは次のように示した。

これからの学校教育目標

- 学校教育目標 **夢・希望に輝く子の育成** ←最終的に目指す姿

○目指す児童生徒像

- 小・・よく考え進んで学習する子 → **（かしこい子）**
 - 明るく思いやりがあり助け合う子 → **（思いやりがある子）**
 - 心身をきたえ最後までやり抜く子 → **（ねばり強い子）**
- 中・・自ら考え、自ら行動するかしこい生徒 → **（自立）**
 - 思いやりがあり他者を尊い者として重んずる生徒 → **（尊重）**
 - 未来に向かい、大きく成長する粘り強い生徒 → **（飛躍）**